



(第 63 図)

(37) 飛騨国中全図 (第 63 図)

年代 高山県の時代・慶応 4 年 (1868) 6 月～明治 4 年 (1871) 11 月

寸法 102.6×30.7

所蔵 高山市教育委員会

この絵図は飛騨が高山県であった 3 年の間に作られた飛騨国絵図で、図の上が東方向である。高山の位置に「高山県」と四角で囲われている。蔵書印は「岐阜県下飛騨高山町事務取扱所」とある。

主要街道、在所、隣県への里程が詳しく記されているが、基本情報は江戸時代の飛騨国絵図等を参考にしていると思われる。古城跡が○、山は薄緑色、池沼川は青色、郡分けは黒色、往来が赤色の単線で表記される。口留番所も記号で表記される。社寺の位置と名称は極めて詳しく記され、社寺の位置が必要であったことが伺える。

部分拡大図は高山周辺と金山周辺の図である。

情報量が多く、地誌の調査に役立つ好資料である。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。